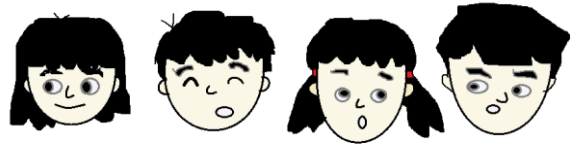


## だいじょうぶ…？



## だいじょうぶだよ…！

お早うございます。今6年生のお姉さんの声に合わせて、桃五小の617人の子どもたちと先生方で、元気に挨拶ができました。

みんなの6年生の代表の人の合図に合わせて、全員が心をひとつにして、挨拶というひとつのことをする。これがチームワークです。

みなさんみんな違う一人一人が、それぞれに自分のいいところを出して、そしてほかの人と心をひとつにしてみんなの力で何かをする一人でやるよりずっと素敵なことができそうです。これが協力するということ。チームワークということなんですよ。

そこで、今日は「だいじょうぶ？」、というお話をします。

先週のある日の夕方、そろそろかえろうかな、と思って学校の玄関の階段を下りると、通りかかった二人連れのきれいなお嬢さんがにこにこしながらこちらを見えています。誰だろうと思ってよく見ると桃五小を卒業した中学2年生でした。

「校長先生、元気ですか。無理してませんか。だいじょうぶですか。」と声をかけてくれます。こんな懐かしい二人と懐かしい話をしているうちに、こんなことを思い出しました。

何年か前のある日、いつものように、朝東門の方のかどで桃五のみなさんを迎えていました。たくさんの子が元気にそして笑顔で『おはようございます。』と挨拶をしていきます。とても気持ちのいい朝です。そこへ、いつも笑顔で元気に声をかけてくれる1年生の女の子が来ました。ところがいつもと違い元気がないように思いました。「今日はお姉ちゃんと一緒にじゃないの。」と聞いてもちょっとこまったような顔をしていて、いつものように返事もなく、なんとなく具合が悪そうです。そして、そのまま下を向いて行き過ぎたので、ちょうどそのあとに来た6年生の女の子に、「あの1年生の子がちょっと具合が悪そうなんだけど…。」と、途中まで言いかけると、その6年生の子は、すすっと1年生の方へ走って行き、軽くとんとんと肩をたたき、「だいじょうぶ……。」と声をかけてくれました。すると、1年生は優しい声にうなずきながら、6年生に連れられて、手をつないで学校の中に無事入って行きました。誰であろうと、困った人がいたら「だいじょうぶですか？」と声をかけて、手助けしようとするこの女の子、これがさっきお話しした、先週玄関で久しぶりに会った中学生の女の子なのです。

そして、この子は2年くらい前の朝にも、たまたま目の前で2年生の女の子が転んで痛そうにしていた時、かけよって、「だいじょうぶ？」と声をかけ、「今日はズボンをはいて良かったね。スカートだったらすりむいて血が出ちゃったね。だいじょうぶだよ、一緒に行こうね…。」と、やっぱりやさしく助けてくれた子なのです。

人のことをいつも気にかけて、大切にしていられる心、とっても大事ですね。この気持が、チームワークのもとになるのですよ。

自分も一生懸命やるけれど友だちのことも大切にしてい、大丈夫？と優しく見つめながら協力する。これが桃五の子どもたちのいいところ。

今、みなさんは6年生も5年生も、4年生も3年生も、2年生も1年生も、みんなが心を一つに、協力して運動会の練習が始まりましたね。

6年生の体育館の練習を見ていたら、組体操の練習をしていました。まだまだ、なかなかうまくいかないけれど全員で成功させようと、だいじょうぶ大丈夫、がんばれがんばれ。と、お互いに声援しながら取り組んでいました。それから、校庭でも6年生運動会と連合運動会でやる長縄跳びの練習もしています。「はい、はい、はい、・・・・・・・・。」と声をかけ合い励まし合いながら心を一つにする練習。『はい、はい、・・・・。』の「はい」のあとに、聞こえないけれど、だいじょうぶ、だいじょうぶ、だいじょうぶ・・・・。という言葉が聞こえるようです。

そう、これがチームワーク。心をひとつにして、すばらしい運動会にしたいですね。運動会は自分の、そして友達の『いいところさがし』。いいところを出し合い励まし合いがんばるところ。「だいじょうぶ？」と思いやり心配しあい。「だいじょうぶだよ！」と励まし合う。この二つの気持ちを×618倍して、いいところさがしの運動会にしましょう。

桃五のみなさん。だいじょうぶ・・・・？ だいじょうぶ、ですね。  
お話、終わります。

